

月刊
さわやか

第88号
平成26年8月15日

公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
〒191-8501 日野市日野本町2-4-7
TEL 042-1581-8171

《発行》

第65回定時総会 会員数問題が浮上

会長・市長挨拶、事業報告・計画説明で

6月20日、当センター第65回定時総会。冒頭、恒例の会長挨拶は、いつもと違っていました。

「シルバー人材センターは文字どおり『人』によって成り立っている団体」と切り出した北村会長は、「超高齢化社会で働き手の確保が大きな課題」「これがシルバー人材センターにとっては逆風」とのべ、都内SC全体で会員数が減っている事実を挙げました。さらに「ここ数年は減少傾向に歯止めがかかっていません」と。

続く名誉会長・大坪市長の挨拶は「会長さんからもありましたように」と受けとめ、「会員数の伸び悩み」に言及。「これはどうしても克服していかなければなりません」と強調されました。

次いで、平成25年度事業報告



第65回定時総会の参加者

で有賀理事は、「会員の状況」について、『月刊さわやか』6月号にもあったように「3年連続の減少」を指摘。平成26年度事業計画の説明でも、徳田理事から同様の指摘がありました。

会員数
平成26年6月30日

1,636名
男性 1,209名
女性 427名
入会者数
6月24名
(男18名、女6名)
但し、退会者49名

今年の課題は「会員の拡大」——東京しごと財団誌

東京しごと財団(都SC連合)の機関誌『シルバーとうきょう』今年7月15日号は、巻頭の「今年はこれをごんばります」コーナーで、次の3点を掲げています。

- ①就業機会の確保
 - ②会員の拡大
 - ③安全就業の取り組み
- 「会員の拡大」では、新規会員の獲得に向け「シルバー体験講習」を開催するとしています。

仕事の確保と会員増強は「車の両輪」——当センターも努力

当センターも従来から就業機会(仕事)の確保と会員増強は、たえず追求すべき「二本柱」の課題と位置づけ、就業開拓やセンターPRに取り組んできました。平成26年度事業計画も「就業開拓とともに人材確保が大きな課題となっております」とのべています。



会員募集ポスター

①310カ所にポスター

「日野市民で60歳以上の働く意欲ある男性女性、シルバー人材センターに入りませんか...街のいろんな所でシルバーさん活躍」——こんな手づくりの会員募集ポスターを、当センターは平成19年10〜12月、市掲示板310カ所に張り出しました。

総務部会(当時)が発案し、有志会員が作成。地域班長会議に図つて全面協力を得ました。同ポスターの張り出しは、平成21年7〜9月にもおこなわれました。

(3面下につづく)

「今回6ページ建て」
3面II各委員会メンバー紹介
4面II地域班長だより

平成26年度
前期地域班会議
 順調に開催すすむ
 8月10日までにほぼ終了
 2班で週日開催の試み
 出席率アップ(50%)の班も

各班で女性の参加が少ない

平成26年度前期地域班会議は全体として順調に進められ、8月10日(日)までに34班で終了しました。開催日はほとんど土日ですが、2班では初めて週日開催を試みました。うち1班(日野1班)では、出席率が昨年前期の36%から50%にアップしました。

8月4日開かれた地域委員会では、班会議開催状況を討議する中で、大体どの班でも女性会員の参加が少ないことが話題になりました。原因は何か、どうすればいいか——全体の参加率アップ(40%目標)とともに女性参加率アップが今後の課題となりました。

「広報ひの」宅配も話題に

各地域班で出された質問、話題で目立つのは、たとえば①最近退会者が増えているが理由がわからない、②班会議出席者の大半は就業者(未就業対策が大事)、③「買物難民」救済をSCでできないか、④駐輪場有料化でSC就業はどうなる?、⑤年齢制限撤廃はいいが、75歳以上の就業希望者には面接をしてほしい——等々。7月から開始された「広報ひの」宅配も話題に。「当センターも入札を準備したのに残念だ」「入札でなく随意契約だったそうだが、どこの業者が受注したのか?」等々の声が上がっていました。



日野1班の地域班会議(H26.7.23)

事業委員会委員を募集します

事業委員会は、委員4名を募集します。

★主な業務は、①自主事業の開拓と育成、②事業の販路開拓と広告宣伝などです。この業務で2名募集。

★保育事業や介護関連事業のよいうな女性向けの事業の開拓、さらにポスティング事業など、比較的高齢な会員が就業可能な事業の開拓を行う方針です。この業務で2名募集。保育事業関係の募集の詳細は、本紙折り込みチラシをご覧ください。

女性委員会委員を募集します

女性委員会は、委員2名を募集します。詳細は本紙折り込みチラシをご覧ください。

★応募ご希望の方は、事務局・鶴川まで連絡ください。
 (☎581-8171)

「各委員会の補充人事」

●業務委員会1名(計7名)
 ・根津 正美 Ⅱ 三沢 1班

理事会ニユース

★第4回理事会 7月28日

・審議事項 Ⅱ ①正会員の入会、報告事項 Ⅱ ①6月事業実績、②各委員会の活動状況

「センター行事日程」

●9月26日(金) 地域班ブロック長会議 Ⅱ センター会議室

定時総会、地域班会議、社会奉仕活動への参加は会員の義務です。必ず参加しましょう。

SC安全大会 9月30日

東京しごと財団(都SC連合)主催の「シルバー人材センター安全大会」が9月30日、東京・飯田橋で開催されます。当センター安全管理委員会から宮古委員長ら委員数名が参加します。

配分金の支払日

8月20日(水)
 9月19日(金)
 10月20日(月)
 11月20日(水)
 12月19日(金)
 1月20日(火)

テレホンサービスは
 042-581-0555

各委員会のメンバー紹介(敬称略)

(平成26年8月1日現在)

委 員 会	構成員名(◎委員長、○副委員長、他は50音順) ——ただし、一部委員は複数委員会を兼務しています。
総務委員会	◎糸井 運平、○岡村 和夫、岸 重雄、田中 政寿、八木 司郎
会報小委員会	◎田中 政寿、○鈴木 博、今村 優、清水 本子
事業委員会	◎有賀 信夫、○瀬田 隆、大間知 紀彦、大岡 芳枝、桐田 英一
業務委員会	◎徳田 功、○栗山 進、大岡 芳枝、桐田 英一、瀬田 隆、根津 正美、松井 広通
地域委員会	◎田村 隆道、○倉澤 博、市川 勝正、小林 清、高木 計宏、吉野 久忠
女性委員会	◎渋谷 善子、○森久保 玲子、上嶋 光代、上條 あつ子、迫田 孝子
安全管理委員会	◎宮古 和則、○穴山 忠敬、安藤 恒美(事務局長)、稲毛 良司、奥住 光雄、小原 堅嗣、須藤 孝雄、田中 政寿、松井 友巳男、渡辺 由紀子

(1面からのつづき)

会員増強をめざす過去の取り組みから(事例紹介2つ)
②『シルバーひの』20年1月号「部会長新春座談会」

会報誌『シルバーひの』平成20年1月号(第173号)は、当センター設立30周年記念行事の一環として、特集企画「部会長新春座談会」を掲載しました。うち、「会員増員の努力」での発言の一部を紹介します。

*高木計宏総務部会長(当時)

「この問題(会員増員)は総務部会の最重要課題として取り組まなければと、認識しております。...(中略)...そのために昨年(19年)10月、会員募集のポスターを作成し、地域班長さんの協力をいただき、市の掲示板310カ所に掲示いたしました」

*安藤義男事業部会長(当時、その後副会長⇒故人)

「高齢者雇用安定法改正で、各企業に対し65歳まで雇用するという法律が施行され、シルバーへの入会も大きく変化しているわけですね。...しかし、会員数を増やさないと組織は弱体化し、新しい仕事の担い手がなくなります」

地域班長だより

西平山2班 山口 忠史



旧西平山班の分割が3年前に決まり、私が西平山2班の最初の班長を引き受けることになりました。班長を引き受けて、今まで担当してこられた倉澤班長(現・1班々長)のご

市民との挨拶を

旧西平山班の分割が3年前に決まり、私が西平山2班の最初の班長を引き受けることになりました。班長を引き受けて、今まで担当してこられた倉澤班長(現・1班々長)のご苦労が初めて分かってきました。各班長さんは、各班の苦勞をなさっておられると思います。私も会員の皆さんたちの手助けになるように頑張っています。たいと考えています。

でも時々顔を出してくれず。もう1人は「定年」で退かれましたが、年に4、5回、近況報告がたら会合を楽しんでいます。

いま私が就業中に心掛けていることは、挨拶を交わすことです。この頃は公園を散歩中の人たち、ランドゴルフ、テニスを楽しんでる人たちからも気軽に声を掛けてもらえるようになり、有り難いことだと思っています。

これからも、市民の方々に公園での散歩やスポーツを楽しんでもらえるように、清掃の仕事に励んでいきたいと思っています。

私がシルバーの会員になって5年目に入りました。私の就業先は旭が丘中央公園で、3人の仲間と管理・清掃をしています。息子、娘たちは、家の掃除をしたこともないのにやっつけていけるのかと心配しましたが、やれば出来るもので、もう4年目に入ります。

この4年間に、仲間4人が入れ替りました。3人は体調をくずされ、やむなく退かれました。



旭が丘中央公園で作業中の山口班長

全シ協・都SC連合のニューズから

全シ協誌『月刊シルバー人材センター』5月号「誌上パーティ」紹介続報ほか1点を紹介します。

女性会員増強のための施策

地域浸透(下)

女性会員比率(カツコ内数字)平成25年度)の高い東京都文京区SC、山口県周南市SC、福岡県糸島市SCの取り組みの紹介

文京区SC(42・7%)

女性会員比率の高い理由① ② ③ ④

① 女性会員比率の高い理由① ② ③ ④

① 会員増強推進事業の実施、② 女性会員向け就業分野の開拓、③ 婦人部(のち女性委員会)の設置、④ 家事援助グループの設置。

とくに①では、昭和61年度から8年間、65歳の男女区民に入会案内状を送付し、会員拡充を図りました。③では、平成25年度に女性委員会を新設、3名の新任女性理事(計10理事中)が中心になって活動を開始しています。

周南市SC(42・5%)

女性会員は多いが、問題は就業者の大半が単発的な就業日数

で配分金も少ないこと。そこで金額の多い順に、競艇場美化(清掃)、家事援助、手作業の除草等で女性就業の拡充を図っています。

女性会員を増やす活動として、①女性の集い(たとえば「笑いヨガ」「しゃっきり体操」)、②おばあちゃんたちのエコ朝市(各種作品の販売)、③はつらつ女性講習(たとえばアイデア上着、座布団等)。

糸島市SC(45・4%)

女性会員の拡大にはセンター設立(平成元年)当初から積極的。女性理事2名のほか女性部会員5〜6名が毎回の理事会にオブザーバー参加し、イベントの企画などに意見を反映してきました。

「女性会員を増やそう!」(都SC連合誌)シルバーとうきょう『5月15日号より』

東京・昭島市SC

女性会員は、就業率が95・8%と高いのに会員比率は22・24%(全国平均33%)。そこで女性会員を増やすために、特別に女性対象の入会説明会を年2回(4月と10月)開催することにしました。さる4月の第1回女性入会説明会の実績は、来場者30名、うち18名が入会しました。

統括リーダー廃止に伴い

職場コーデイネーターが始動

第65回定時総会の報告事項であつた平成26年度事業計画のⅡ実施計画に、「職場コーデイネーター(仮称)の常置」という項目があります。この「職場コーデイネーター」とは何か——という質問が各所から出ています。

事の経過から言いますと、従来公共部門の各職場リーダーへの相談・助言者として設置されていた統括リーダー(下欄)「それってなに?」(参照)が、今年3月の理事会で廃止されました。それに代わつて職場コーデイネーターを設置し、その任務を事務局が担当することになりました。

事務局職員3名が担当

職場コーデイネーターの設置は今年5月。事務局の岡主任(公共事業統括)のもと、次の3名の職員(敬称略)が職場コーデイネーターを担当しています(カッコ内は公共事業の担当分野)。

- *佐藤壮之(公園・自転車・スポーツ施設等)
- *中嶋良江(小学校等)

*大内修子(施設管理等)

職場コーデイネーターが訪問する対象は、公共部門全114職場(就業者404名)。このうち5(6月の訪問実績は、47職場に102回(1職場複数回)。話をする内容は、職場内の人間関係、市民と発注者への対応、安全就業、後継者の育成、マニュアル整備等々。岡主任の話「職場コーデイネーターのことをお知りになった会員さんで、自分の職場への訪問のご要望があれば、ぜひ事務局へお声をかけてください」



南平駅西交流センターの受付

平成26年7月度

各委員会の活動

【総務委員会】

1日開催。①第65回定時総会についての感想・意見。②総会議事運営規則の確認。③横断幕掲出を検討(後でJ A日野支店に8月一杯掲載と決まる)。④会員用「新規集」発行時期を引き続き検討。

【事業委員会】

18日開催。①都SC全体・当センターの会員動向。②リビングサポート・映像センター事業の進捗状況。③新規事業のテーマ追加。④保育事業研究会立ち上げ、ポスティング班、事業アイデア募集。

【業務委員会】

4日開催。①就業案内と応募状況。②職群班事業の拡大と問題点の改善。③家事援助グループ、植木班・除草班問題(八王子市SCの実情調査)。④清掃事業再編の問題点。④民間事業の応募活性化。

【地域委員会】

7日開催。①地域班単位での清掃活動の拡大。②学童の下校時見守り(防犯パトロール)の活動拡大、小中学校「あいさつ運動」参加者の拡大。③地域班会議対策、各地域班会議の開催予定の確認。

【女性委員会】

9・23日開催。①26年度女性会員交流会は11月18・21日の2回。②会員対象講習会も11・12月開催予定。③市民対象講習会。④秋のウォーキング交流会11月予定。

【安全管理委員会】

14日開催。①26年度事故計6件に、対策を集中討議。②安全標語の選定結果を討議。③7・8月の職場安全巡回の実施を確認。④転倒予防講習会(10月17日)の確認。⑤チェーンソーの取扱い。

それってなに?

統括リーダー廃止

統括リーダーとは、平成19年10月1日付の会長委嘱で発足した当センター公共部門就業者への指導・協力機関。発足時は公共5部門に9名いましたが、その後整理されて4部門4~5名になりました。主要な任務は、各職場への情報提供、改善要望、安全啓蒙等。いわば「職場リーダーの相談役」で、就業期限確認書交付式では4部門に分かれて研修を行ったこともあり。しかし、この数年は欠員も生じるようになり、昨年度末をもって廃止されました。

平成26年度 事故発生状況 2014/7末現在

◇傷害事故(5件)

発生日時・当事者	仕事内容	事故の状況
5/14 午後 男性(70)	除草作業	作業中、体が震えて気分が悪化(熱中症)。
5/22 正午 男性(78)	清掃作業	アパート外階段を清掃中、意識朦朧で転倒。
6/6 午後 男性(72)	清掃作業	雨天下、自転車で帰宅途中、下り坂で転倒。
6/10 午後 男性(72)	清掃作業	校舎内見回りで階段を下り中、半月板損傷。
6/23 午前 男性(75)	公園管理	トラックから刈払機を降ろそうとして、足元の道具箱に躓いて転倒。くるぶし骨折。

◇賠償事故(1件)

5/8 午前 男性(71)	公園管理	刈払機で小石を飛ばし車両リアガラス等破損。
---------------	------	-----------------------

事故多発なぜ?

傷害5件・賠償1件……78歳を筆頭に全員70代

今年度早や6件目

当センターにおける今年度の事故発生状況は、7月末現在で傷害事故5件、賠償事故1件の計6件となりました。個々の事故

状況は別表のとおりです。

本紙前号では、6月10日の傷害事故をもって「今年度4件目の事故発生」と紹介しました。しかしその後、5月14日の熱中症事故が後日判明、さらに6月23日に骨折事故が発生し、計6件の事故となりました。

シルバー全体が高齢化

この6件の事故は5〜6月の2か月間に集中して起きています。これはどういうことか?—7月14日の安全管理委員会では、集中的な事故討議が行われました。まず、シルバー人材センター全体の環境が問題になりました。目立つのは会員全体の高齢化。当センターの会員平均年齢は、平成16年度の69.2歳から25年度の70.2歳に1.6歳も高くなっています。東京しごと財団誌『シルバーとうきょう』7月15日号にも「会員の高齢化に伴い、事故の発生件数は高止まりの傾向にあります」との記述があります。

こうした認識をふまえて安全



マンションの駐輪場を清掃する会員

管理委員会では、「同じ人でも体力・注意力は数年前と違う」「健康管理・体調管理にはいつそう気をつける」「作業現場での朝のミーティング、作業中の声かけは手ぬかりなく励行する」等々を確認し、各現場での安全就業徹底を申し合わせました。

熱中症に気をつけましょう

異常な酷暑がつづいています。熱中症で病院搬送・死亡のニュースも後をたちません。

熱中症患者の4割は高齢者(65歳以上)といわれます。しかもその半数以上は、屋外でなく住宅の中で起きています。

認知症サポーター講座

渡辺 由紀子

近年、新聞、テレビ等で認知症の話題が多く取り上げられています。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、高齢者の4人に1人が患っていると言われています。

今年3月10日に、当センターで「認知症サポーターキャラバン隊」の講座を受講する機会がありました。

認知症になっても周囲の理解と気遣いがあれば「尊厳ある暮らし」をすることが出来ると言われています。それには認知症についての正しい知識をもち、認知症の方とともにその家族の方をサポートする必要があるということです。

認知症の人への対応の心得

三つの「ない」

*驚かせない

*急がせない

*自尊心を傷つけない

等の基本姿勢や具体的な対応ポイントを学びました。

さらに各地域で支えるための「認知症サポーター」の役割も理解できました。

今後とも、認知症への理解を深めると同時に、自分が認知症にならないための「予防法」の知識も深める事が大切ではないかと思いました。

(三沢1班)